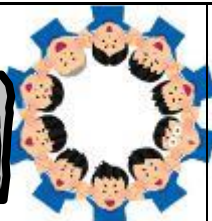


～ かがやく杉谷っ子のために ～

ONE TEAM



島原市立第四小学校
学校だより No.105
令和4年9月1日(木)
文責：校長 大槻浩二

Smile いっぱいの2学期に!

42日間の夏休みを終え、2学期がスタートしました。制限がない夏休みでしたが、全国・県内・市内ともに感染が広がる中、今年も「がまん夏」だったことと思います。夏休み中も感染報告が続きましたが、各ご家庭のご配慮等で、早期対応により校内での感染は広がりませんでした。また、家庭での感染予防のご協力で、本日予定通り始業式を迎えられたことに感謝申し上げます。

本日、子どもたちの元気な笑顔が見られたことで、安心と喜びを職員全員で共有したところです。2学期もこれまでの感染症対策を継続しながら、教育活動を進めて参ります。ご協力をお願いします。

また、感染者や濃厚接触者の自宅療養期間等の検討など、対応が次々と変わっています。お互いに確かな情報を得るとともに、適切に対応するためにも感染等の連絡は、早めに学校へお願いいたします。併せて、これまで通りに児童の健康状態を確実に把握するため、朝の健康観察の送信をお願いいたします。

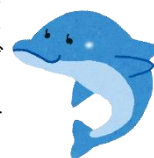
今年度の本校のテーマは「Smile」です。2学期も子どもたちと教職員と一緒に smile いっぱいで充実し

た活動ができるように努めて参ります。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



夏休みの思い出と2学期頑張りたいこと

四年一組 馬場 理功



ぼくの夏休みの思い出は、口之津へイルカウォッチングに行ったことです。ライフジャケットを着て、船に乗りました。船がすぐゆれてどきどきしました。それから三十分ほどたつとイルカがあらわれました。「バンドウイルカ」という種類のイルカであることがわかりました。時速五十メートルで泳ぐことができるバンドウイルカですが、船の横や下をゆっくり泳ぐすがたを見ることができました。四十頭近くのイルカをよく見てみると、魚をくわえたイルカや親子で泳ぐイルカもいました。野生のイルカをじっくりと観察するのは初めてだったので、よい経験となりました。イルカウォッチングの後は、海水浴を楽しみ、忘れられない夏休みの思い出となりました。

ぼくが2学期にがんばりたいことは、三つあります。

一つ目は見直しをていねいに行うことです。一学期のテストをふり返ると、よく見直しをすることで正しく答えられた問題が多くありました。これからは、速く問題に答えるだけでなく、もう一度最初から問題を見直して、簡単な間違いをしないようにしていきます。

二つ目は、自信をもって発表をすることです。ぼくはこれまで得意な教科では、進んで発表できましたが、苦手な教科では発表する自信をもてませんでした。2学期は全ての教科で失敗をおそれずに、自分の考えを友達に伝える努力をしていきます。

三つ目は、体力作りです。ぼくは、バスケットボール部に入っています。今のぼくの目標は、試合に出場する時間を増やすことです。そのためにも練習に取り組みむのではなく、一つ一つの練習に全力で取り組み、体力をつけていきます。

これらのことを達成できるように、2学期はしっかりがんばっていきます。

夏休みの思い出と二期期がんばりたいこと

四年二組 三村 豪



四十二日間の夏休みで特に心に残っている思い出は、五島に行ったことです。

五島は、ぼくが生まれた思い出のある場所です。五島は遠く、車で長崎まで一時間以上走り、フェリーに二時間ぐらいのって着きます。ぼくは、自分が小さいころに住んでいた町「みちどい」に行くのをとても楽しみにしていました。「みちどい」に着いた時には、あまりにもうれしくて、つい外ではしゃぎすぎてしまいました。五島で過ごしたのは三日間です。「みちどい」には、海があつて、小さいころもよく遊んでいました。だから、今回もたくさん泳ぎました。海の色は、エメラルドグリーンでもきれいでした。五島では、おじいちゃんやおばあちゃん、小さいころにお世話になった近所のおじいちゃん達にも会いに行きました。小さいころいっしょに遊んでくれていたお兄ちゃんともバスケットをして遊びました。あつという間の三日間でしたが、とても楽しく思い出いっぱい三日間を過ごすことができました。

次に、ぼくが、二期期がんばりたいことを発表します。がんばりたいことは、三つあります。

一つ目は、忘れ物ゼロです。そのわけは、一学期に忘れ物をするものがたくさんあったからです。二期期からは、家に帰ったらすぐ宿題をして、終わったら次の日の準備をして、忘れ物がないようにしていきたいと思います。

二つ目は、算数です。四年生になってから、算数の内容がどんどん難しくなってきました。自主学習などで、予習や復習に取り組み、算数に強い頭になるように、きたえていきたいと思っています。

三つ目は、四小スタンプです。学級みんなが四小のみんながスマイルになるように、相手のことを考えて、自分にできる「スマイル大作戦」に取り組んでいきたいと思っています。

二期期も、「パワー全開！心はひとつ！」を合い言葉にして、がんばっていききたいと思っています。

青春って、すごく密なって…

夏の甲子園。東北勢初の優勝を飾った仙台育英高校の須江監督の優勝後の言葉の一節である。

暑い中、必死に白球を追う姿に感動するとともに、コロナ禍でのこれまでの努力や苦労がどれだけのものだったかを想像すると胸が熱くなった。

それは、甲子園に出場を果たした学校だけでなく、夢の舞台を目指した全ての選手に言えることだろう。

全国の全ての高校生を称える言葉が続いた。

野球をする高校生だけでなく、全てのスポーツを頑張っている全ての子どもたち、スポーツだけでなく文化的な活動を頑張っている子どもたちも、ここ数年のコロナ禍での苦悩は、計り知れないし、大切な青春時代は「我慢」の日々だったことを改めて思い知った。

学校として同じである。これまで当たり前に行っていた学習や活動が中止、延期、縮小など、子どもたちにとって大きな影響があったことは間違いない。

感染防止で命を守るための措置とは言え、子どもたちの思い出や経験、正に「青春の一ページ」が削られたことを忘れてはいけない。

だからこそ、今過ごしている時間を大切に、人と心のつながりは密でありたい。

子どもたちの心に刻まれる、スマイルいっぱいを目指した二期期がスタートした。



ホームページのリニューアルが終わりました！

お知らせしていましたが、ホームページの更新が終わりました。今回のアップデートでは、子どもたちの情報をいかにわかりやすく伝えるかを意識しました。また、PCやタブレット、スマホでの見え方の特徴を生かした構成と、「次も見たい」と思っていただけのように工夫しました。ぜひ、全ページともいろいろな媒体で見てください。

